



中日新聞 2024.2.2

能登と 思いはひとつ

訪問入浴車の機能を説明する竹下さん＝いずれも小布施町で



要介護被災者の入浴手助け

能登半島地震の発生から1カ月の節目となった1日、県介護福祉士会と県社会福祉協議会は、被災地で介護が必要な被災者の入浴を支援するために、石川県七尾市へ向けて出発した。浴槽や水のタンク、ポンプを備えた訪問入浴車で、介護福祉士の資格を持った介助者2人が被災者の入浴を手助けする。
(清水悠莉子)

ぬくもり
届けたい

福祉2団体活動 心身「リラックスして」



出発式に臨む介護福祉士の杉本さん（左から2人目）ら

被災地から相談を受けた県社協が、県介護福祉士会に協力を呼びかけて実現した。辰野町社協の訪問入浴車を使い、今月中旬まで毎週木・日曜日に被災地を訪れ、活動する。
第1陣は4日まで、七尾市中島町外の旧西岸小学校

の避難所を拠点に、奥能登地域の避難所などで活動する。1日に小布施町で開かれた出発式では、被災地向かう4人を、県社協の職員らが激励した。
介護福祉士として参加する松本市の訪問介護事業所勤務の杉本裕美子さん(46)は「要介護の人は災害から1カ月間で、もっと悪くなっているのではと想像している。心のケアも大変。な

県介護福祉士の鈴木よし子会長(63)は、介護が必要な人は介助なしでは入浴が難しく、被災によって変わった生活環境に、戸惑っていると推察する。「一般人よりプロが関わることで、細かい配慮もできて安心につながると思う。台風19号災害の時には助けもなかった。お返しに少しでも元気になってもらいたい」と活動の意義を強調する。
この日、被災地で災害廃棄物の運搬などに活用できるよう、軽トラクレー台も七尾市へ向かった。

んとか、生活をもつ一度立て直そうと思ってもらえるように活動したい」と語った。
6年間訪問入浴業務に携わってきた塩尻市社協の竹下正さん(51)は「しばらくお風呂に入れていない人がいると聞いた。入浴で血流がよくなり、傷の治りも早くなることもある。リラックスして温まってもらいたい」と話した。

※ 奥能登入浴支援プロジェクトには、信濃毎日新聞（塩尻支局）、中日新聞、医療タイムスの取材を受けました。No.3では医療タイムスを掲載する予定です。



奥能登入浴支援プロジェクト現地レポート 2024.2.2

(註：発信者名は原則ラインのペンネームです)

創意工夫が大切、でも人材不足！

ホラっち (17:35)



入浴車の浴槽をお湯張り用にして、入浴車のシャワーと、浴槽から直接お湯を組み上げるシャワーを使い、シャワー浴で対応しました👍

あやっこ (17:57)

工夫されてますね、さすがです!! 😊 現地では他に介助できる方はいましたか？

本当はもっと人が欲しい、というところでしょうか。

ホラっち (19:02)

今日は、NGOの方1名も水のタンクを運んでもらうこともあり、5名で対応しました。



実際の入浴支援は、在宅の方は女性で、男性は無理…とのことで杉本が対応

特養は、施設のスタッフさん1名と杉本で対応し、脱衣場に施設のスタッフさん1名、竹下さんが入っていただきました。

実際の介助がかなりあり、在宅であると環境も厳しいため、ガッチリ介助ができないとお役に立てません。

入浴車の機械の操作や組み立て、給水の作業には男性の力も必要です👊 来週以降、入浴車の扱いができる人がいないのもかなり心配です🙏

ユグミ (19:12)

県社協の高橋です。皆さま、お疲れ様です。今後も続いていくので気がついたことなど、たくさん聞かせてください。残り半分、帰りの元気を残しつつ頑張ってください！

よし子 (19:50)

2クール、3クールめも、取り扱いがわかる方が1人はほしいですね。支援は大丈夫ですが、入浴車の取り扱いは心配です。

宿泊環境が厳しい、屈強な若者を！！

よしのり (20:21)



寝泊まりする環境はかなり厳しいです。寒いし床が硬い…。でも、結の方々はとても温かく活動を支えていただいています。入浴の直接支援はしていません

が、限られた人数でやろうとするなら、ダンプの運転できる人がいいかと…。

オペレーターが絶対必要！！

tadashi (20:25)

お疲れ様です。塩尻社協の竹下です。



本日はシャワー浴だけでしたが、現地スタッフさんからの協力、情報が無いと厳しい面が有ります。また、シャワー浴だけでなく訪問入浴スタイルで行なう場合は機械の取り扱い、浴槽のセッティング、片付けなど慣れないと時間要すると思います。

ご利用様に関しましては感染症などの情報などナースさんの協力も大事かと思えます。あと水のダンプからの供給が重要なので運転含め人員配置も配慮お願い致します。

のりかず (20:34)

午前はNGO 結さんに希望が上がっていた個人宅に伺いシャワー浴を提供。障害のある女性の方でしたが、最近お父様を亡くされていて、辛いことが重なっていたとの事。今回の地震で1ヶ月入浴



できていなかったが入れたことでとても喜んでいただきました。同居されているお母様も娘の笑顔を久しぶりに見た、とお話しされていました。

午後は、輪島市の特養ゆきわり荘に訪問しシャワー浴を提供。職員の皆さんの地震発災からの過酷な状態もお聞きしました。杉本さんと竹下さん、施設の職員の方々と協力しながら、17名の利用者様にご利用をいただきました。

この入浴車提供のお話ですが、NGO 結様がNHKに取材され、入浴車の希望も増えそうです。

奥能登入浴支援に応募を！

むさし (21:03)

現地の皆さんお疲れ様です。



大変さが伝わるレポートありがとうございました🙏 明日早朝にはPT速報No.2の編集発行したいと思います!。宿泊環境が劣悪の様子、派遣される人も屈強な若い人が必要のようですね! オペレーターも幾つかの社協に問い合わせ中です👉 こちらも頑張りますので、皆さんも頑張ってください。

